

葛西第三中学校応援団実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

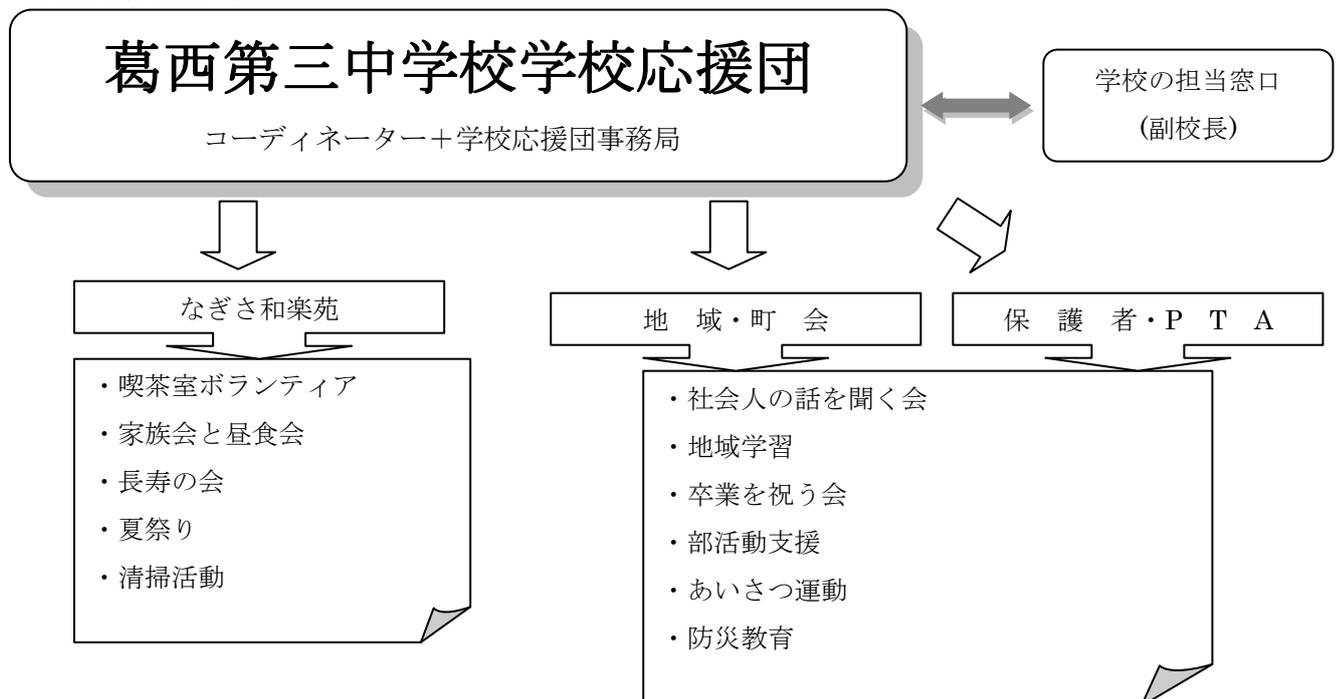
校長 山浦 勝雄

コーディネーター 財崎 彰司

2 今年度の活動内容

応援団の種類	応援団の名称	活動内容
安全・安心支援	防災教育	○町会の防災訓練に生徒が参加し、消火や救命活動等の体験学習を実施。
	あいさつ運動	○朝のあいさつ運動への参加
学習活動支援	地域の学習	○盲目のトランペット奏者 鈴木加奈子さん講演会
	社会人の話を聞く会①	○進路学習「社会人の話を聞く会」講師：農協観光その他
	社会人の話を聞く会②	○生活リズム向上講座 講師：子どもの早起きをすすめる会 神山 潤
	社会人の話を聞く会③	○車椅子バスケットボールプレーヤー 京谷和幸さん講演会
	卒業を祝う会	○卒業を祝う会の運営・支援
ボランティア活動 支援	ボランティア	○なぎさ和楽苑での年間を通じたボランティア活動
部活動支援	部活動支援	○ソフトテニス部、卓球部、バドミントン部、陸上部の技術指導等

3 学校応援団組織図



4 今年度の成果と今後の課題

<成果>

社会人の話を聞く会に様々な講師を招聘し、その経験や実体験を直接に聞かせることができ、思春期を迎えた生徒の良いアドバイスとなった。また、新田町会の防災訓練を本校で開催し、生徒が参加することによって、学校と地域がともに防災活動において連携を深めるための第一歩となった。そして、保護者の朝のあいさつ運動への参加や保護者・地域による部活動の技術指導への参加では、生徒と保護者・地域との交流の機会が広がった。さらに、なぎさ和楽苑のボランティア活動支援では、生徒の思いやりの心の醸成につながった。

学校応援団の活動を通して、昨年度より様々な方が学校を訪問していただくようになり、学校応援団の活動を中心として、学校と地域・保護者との連携が一層深まったように思われる。

<課題>

コーディネーター、学校応援団事務局と学校側の窓口が副校長に集中しており、副校長の業務内容が増加している。学校支援組織であるにも関わらず、学校の業務が増加している点は、今後どのように解消していけばよいのか課題である。また、今以上に各種支援活動へのボランティアの参加募集を行い、学校応援団ボランティア会員を増やしていくことが課題である。



5 コーディネーターより

学校のために何かできたらと学校応援団コーディネーターを務めてまいりました。そして、学校・保護者・地域の皆さんが一つになって、次世代を担う子どもの成長を手助けできるように学校応援団活動を進めてまいりました。

今年度、学習支援では社会人の話を聞く会、安全安心支援では新田町会の防災訓練への参加や保護者の皆様の朝のあいさつ運動への参加、部活動支援では地域や保護者の技術指導参加、そして、ボランティア活動支援ではなぎさ和楽苑との連携をさらに図ることができました。

今年度より来年度、そして、来年より再来年度と年々、一歩ずつ学校応援団活動が活性化できるように、コーディネーターと応援団事務局が中心と活動してまいりますので、地域、保護者の皆様のさらなるご協力をお願いいたします。

6 学校長より

本校を取り巻く葛西地区は地域行事にも熱心で生徒一人ひとりを学校・保護者・地域が一体となって育てていこうという気質にあふれたすばらしい地域です。

本校での学校応援団の取り組みの考え方は、この恵まれた葛西地域の皆さんの支援を受けた、学校での教育活動（安全安心支援、学習支援、部活動支援、学習環境支援）、地域行事等での生徒との活動、生徒の健全な育成を図る活動、そのすべてを「学校応援団」活動と捉えてまいります。

今年度の取り組みを学校応援団コーディネーターと事務局の皆さんとで一緒に振り返り、来年度はさらに「学校・保護者・地域が一つとなって次世代の子どもを育てる」活動の充実を図れるように取り組んでまいりますので、引き続きご協力をお願いいたします。